

## みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	唐桑地区手をつなぐ育成会	
代表者名	会長 鈴木 芳枝	
連絡先 TEL : 0226-31-2051 FAX : 0226-31-2052		E-mail : chikushakyou007@gmail.com

## 1、助成事業報告

助成を受けた事業名	研修会・物づくり講師・花壇事業の充実と施設見学会実施。育成会ブロック会議の参加。
事業の目的	知的障がい者（児）を守り、その福祉を図ることを目的としています。その他、知的障がい者（児）の健全育成、職業指導、家庭指導、特殊教育についての啓蒙、援助教育の理解を広めるとともに各種関係団体との連携を取りながら親同士の情報交換・交流を深めるきっかけづくりを促進しています。
事業の具体的な内容	<p>月2回開催するタコママ会の活動の充実と活動の幅を広げ各種関係福祉団体との連携・親睦を深めながら取り組んでいます。</p> <p>①花壇事業の充実を図る 只越地区の道路沿いにある花壇は唐桑の玄関口にあり、とても目立ちます。その場所を毎年花いっぱいになるよう当会で維持管理しています。年に7回ほど花壇作業をし、体を動かし地域貢献しています。</p> <p>②育成会ブロック大会の参加・・・会員の中から親2名（+本人）が参加し、他の育成会の様子や情報交換をしながら交流を深めるきっかけにする。</p> <p>※上記②の事業は、新型コロナウィルスの影響を受け大会が中止となり、助成金申請の変更届（令和2年10月12日付）を出し下記の事業内容へ今回特別処置として受理して頂きました。</p> <p>変更後②タコママ会交流事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●10月21日の県育成会と共にオンライン上映会開催 対象：会員 参加無料</li> <li>●定期交流会「タコママ会」月2回 参加：会員約10～15名</li> <li>※講師を呼びモノづくり講習会</li> <li>※県育成会との交流・情報交換</li> </ul>

	<p>●唐桑町と本吉町の育成会が集まる小規模交流会</p> <p>対象：該当地区的育成会会員</p> <p>日付：令和3年3月22日（月）</p> <p>参加：一部負担 開催時間：11:00～（2時間程度）</p> <p>場所：はまなす海洋館</p>
活動の開始から完了までの流れ	<p>①花壇事業</p> <p>4月ごろから草刈り作業をし、花壇の周りの整備。5、6月で花壇の除草作業と苗植えの作業（自分たちで道具は持ちより耕耘機も使って土を起こす。）7,8,9月は雑草が目立ち始めるので、草取り作業や花の手入れをし、水やりもします。このころ花がきれいに咲き、唐桑を通る車を歓迎しているような元気いっぱいの花壇となります。会員のみんなも毎日花壇の前を通りたびに誇らしく思っています。10、11月は花の手入れをし、だんだんと花壇の掃除を始めます。今年も頑張ったとお互いに励ました来年も楽しみに完全除草作業をします。この作業を通して会員同士のリフレッシュとなり、新しい新鮮な空気と一緒に気持ちよくみんなで進めることができる充実した事業です。</p> <p>②新型コロナウィルスの影響でブロック大会の中止に伴い、当会の活動の軸である「タコママ会」の充実を図るために活動として活用させていただきました。</p> <p>◎感染対策を取りながら集まり、宮城県育成会のサポートを受けて東京都育成会のオンライン配信上映会を開催し、みんなで参加することができました。なかなか行けないような場所での開催でもリモート参加できることを実感し、今後の活動の幅の広がりを感じました。</p> <p>◎定期交流会（タコママ会）</p> <p>活動の軸であるタコママ会はみんなが集まる憩いの時間です。他愛ないことでも自由にお話しながらモノづくりをして過ごすことで自然と「どんなことをしたいか」を話し合うことができます。普段から交流を持っているからこそいざというとき支え合いができます。今回の上映会や下記の交流会もこのタコママ会から生まれました。</p> <p>◎本吉町と唐桑町の育成会交流会</p> <p>この交流会は、県育成会のサポートを受けて3月22日に無事に実施することができました。県育成会事務局が何度もタコママ会へ足を運んでくださり、みんなでお話する中この話は進んでいきました。ご近所の育成会と交流を持つことが、何十年となかったですが、交流会を開くことができ、お互いの活動を知ることができただけでなく、今後の障がい者福祉に対する危機感など、様々な課題も話し合うことができました。それぞれ家庭の状況を話すことにより同じような悩みを抱えていることもわかりました。</p>
活動の成果と教訓	<p>①花壇作業・・社会貢献活動は、個人の暮らしの充実とみんなの暮らしの充実の両方が噛み合ってこそその活動です。</p> <p>今年度7回開催 マリーゴールド（3種類）300本</p> <p>②タコママ会・・今年度タコちゃん合計約2000個制作。ミニタコちゃん約4000個制作。</p> <p>この会はみんなの居場所であり、自由に行き来できる風通しの</p>

	<p>良い活動です。障がい者（児）を持つという共通のみんなが集まる場は他の場とまた違います。いろんな居場所を作つておくことが大事です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信上映会 12名参加</li> <li>・育成会交流会 8名参加（本吉町からは6名参加）</li> </ul> <p>県育成会の事務局1名を含めて15名で行いました。</p>
今後の展望など	<p>花壇作業：今後も花壇作業に力を入れ、今年こそは花いっぱいコンクールに入賞したいです。</p> <p>タコママ会事業：会員を増やす方法をみんなで模索し、今後も大事にこの活動が続くよう後継者の育成に力を入れていきたいです。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	100,000	
自己資金	26,148	
合計	126,148	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
事業費1 (花壇事業)	除草剤、肥料代、花苗代、作業時の茶菓子代等	40,000	45,014
事業費2 (タコママ事業)	会場代（11回分）、飲食 茶菓子代、ガソリン代、衛生用品等	60,000	81,134
合計		100,000	126,148

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

## 3、送付必要書類

### ① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

### ② 領収書のコピー（郵送）

### ③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）

\*写真は郵送とメールで送ってください。

## 令和2年度 編みの工講習会の様子



梅村マルティナ氣仙沼 FS アトリエ株式会社のテレビ取材を通して、私たちの会も紹介されました！BS テレ東 チェンジザワールド 3月 26日付



こはらぎタコちゃんを作り始めて早7年になりました！みんな上手に作っています！

わからないところはお互い教え合う！



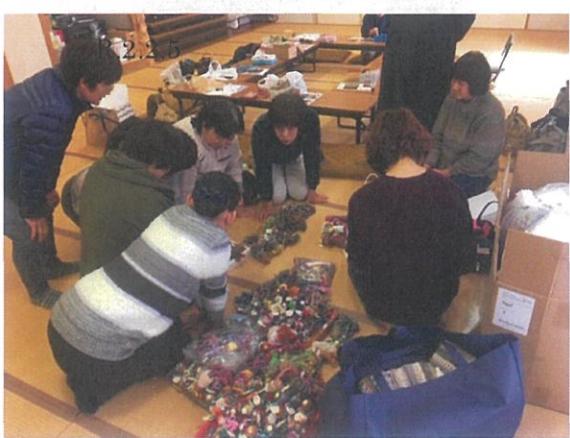
R.2.6.3



R.2.7.1



R.2.8.5



# 令和2年度花壇事業の様子



5月13日（1回目）

草取り作業

6月15日（2回目）

除草作業

6月17日（3回目）

耕運機と苗植え作業



水道が近くにないので、会員の方が自作したシャワー付き水槽で水やりしながら苗植えをしました。

7月29日（4回目）雑草取り作業

真夏で雑草も生き生き育てきました！

9月30日（5回目）雑草取り作業



11月18日（6回目）

花壇掃除作業

今年はコロナ渦で大変な  
1年でしたが自然は豊か  
で変わりなく花を咲かせ  
ていました。

12月7日（7回目）

最終除草作業



## 地域を 知ろう！

～大沢カフェ広場にある慰靈碑とお地蔵さまは今日もみんなを見守っています～

# 大沢地区の慰靈碑 キヤッヂアップ！！

3.11東日本大震災により壊滅的な被害を受けた大沢地区の町屋敷跡地の一角は現在みんなが集まる大沢カフェ広場となっています。その広場の誰もが見える場所に5年前慰靈碑が建てられました。自治会とご遺族の方などからお金を集め、地区住民が賛同し、浦住石材店さんと吉田工務店さんに依頼して造られました。場所は防集A地区の住宅地周辺や高台にある見晴らしの良いお墓など候補が3つほどありましたが、みんなが自然と集まるような場所にあった方が良いということで今の場所に決まりました。慰靈碑建立除幕式を行い、その後は自治会で維持管理を行っています。年に数回掃除や草刈り作業をし、お賽銭は毎年3月11日の献花用のお花代にしているそうです。震災後10年の節目となる今年は、何かイベントを計画中だそうです。「新型コロナウィルスの感染状況次第ですが、できれば10年の節目にこの場所で行事をしたいと思っています」と自治会長の千葉清人さんがお話してくださいました。みんなが集まる場所で「今後の大沢の未来を導く光となり見守ってください」という地区住民の思いが慰靈碑に込められている気がしました。現在はコロナ対策の為自粛中ですが、この広場で毎月「大沢メルカート」という朝市を開き、珈琲、お菓子、総菜、お野菜や新鮮なお魚などが売られています。みんなの笑い声や子供の泣き声など町の活気が生まれる“復興の歩み”を今回の取材を通して確信しました。

慰靈碑 設立年月日：平成二十八年三月



## お地蔵さま

以前は「※あんてら」のそばに供養の為、このお地蔵さまが置かれていましたが、3.11の震災でお地蔵さまだけ無事に発見されました。住民の意向により慰靈碑の横に設置されました。「※あんてら」とは、安置寺の意味で、昔大沢地区で不幸があった時に葬儀の備品を一式収めていた“がん箱”などが収められていた倉庫のこと

## 和らぎの鐘

昔船で「前進後進」「視界不良」「出航」などの時の合図に使われていたこの鐘は、3.11の震災で流されず住民の方が大事に保管していました。洪龍寺の永井功雲氏により皆の顔が和らぐよう安穏を願い“和らぎの鐘”と称えられ、暗闇から明るい方へ苦しみをやさしく包み込むように大沢の過去と未来へ鳴り響く希望の鐘として寄贈されました。

## 「地震があつたら津波の用心」の石碑

以前から少しひびが入っていましたが、3.11の震災で上半分が完全に割れてしまいました。鉄の棒で補強し加茂神社の付近で持ち堪えていたが、慰靈碑建立を機にこの場所に置くことにしました。上半分は手前に置かれていますが、真ん中部分は崩れて津波で流されたのか今も見つかっていません。※この石碑は昭和8年の大津波後に朝日新聞社からの寄付により唐桑町内9ヶ所に設置されました。どれも海のそばにありますが、東日本大震災で割れてしまったのは大沢地区一基のみ。後世へと語り継がれるべき被害の凄まじさが窺える痕跡の一つです。

大沢メルカート 午前10時～午後2時(開催日はFBでお知らせ)今はコロナ対策の為自粛中ですが、是非開催の際は皆さん足を運んでみてください♪珈琲、焼き菓子、総菜、新鮮なお野菜を販売。日によっては新鮮なお魚も登場します！待ち遠しいですね♪

今回の取材にご協力を頂いた吉田三喜男様、千葉紀元雄様、W清人のお二人様、星英伯様、伊藤佐智子様、千葉幸美様どうもありがとうございました！

## 活動報告

### 唐桑地区手をつなぐ育成会の花壇事業



マリーゴールドを  
毎年300本植えています！



宮城県委託 被災地における知的障害児者等地域支え合いづくり業務

## 保護者交流会のお知らせ

### ～気仙沼圏域のつながりづくり～



南三陸～唐桑まで、合併前にはつながりがあった気仙沼圏域。ぜひ顔を合わせて交流しませんか？おいしいランチとケーキでホッとひといき。お互いの近況を知り、今後も活動について相談できる関係になるといいですね。どなたもお気軽にお越しください。（常時換気と、アクリル板で飛沫感染対策をしながら開催します）

日 時 令和3年3月22日（月）

11：00～14：00（10：30 開場）

会 場 はまなす海洋館（2階）

気仙沼市本吉町九多丸1 TEL：0226-44-2517

対 象 気仙沼市（唐桑地区・本吉地区）の皆さん

定 員 15名程度

締め切り 3月17日（水）

※会場準備の都合、FAX・電話・メールで

お名前・連絡先をお知らせください。



※ランチのイメージ

ご参加の方へ ~新しい生活様式にご協力を~

- ①飲食の時以外は、マスク着用をお願いします。
- ②前日や当日にカゼの症状がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ③当日は会場で検温と消毒にご協力お願いいたします。
- ④後日、もし発症した場合は速やかに事務局までご連絡ください。



主催：一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会

電話 022-292-5226 FAX 022-292-5298

メール [jigyoubu@miyagi-ikuseikai.jp](mailto:jigyoubu@miyagi-ikuseikai.jp)

担当：遠藤

☆お申し込み先は各地区の事務局まで

宮城県委託 被災地における知的障害児者等地域支え合い体制づくり事業

気仙沼圏域のつながりづくり

## 保 護 者 交 流 会



令和3年3月22日(月)11:00~14:00

会場：はまなす海洋館（気仙沼市本吉町九多丸1）

主催：一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会

共催：唐桑地区手をつなぐ育成会、本吉絆つながりたい

～皆さんの大切な人を守るために～

- ① 飲食時以外は、こまめにマスク着用をお願いします。
- ② トイレの後なども、こまめに手指消毒をお願いします。
- ③ 移動中もマスクを外したり大声で話さないでください。

[参加予定者名簿] (順不同) みなさんよろしくお願ひいたします！

### 唐桑地区手をつなぐ育成会

	お名前	所属
1	鈴木 芳枝	唐桑
2	吉田 みさを	唐桑
3	小野寺 幸子	唐桑
4	山崎 由美	唐桑
5	相原 啓子	唐桑
6	清水 禮子	唐桑
7	石田 ひとみ	唐桑
8	犀川 由香利	唐桑

何十年と育成会をなしてくられた会長

会長と一緒に初登場メンバー

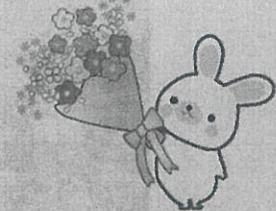
副会長

幹事長

総務

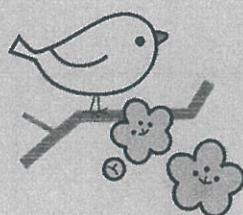
総務

林銀



### 本吉絆つながりたい

	お名前	所属
1	林 亮子	本吉
2	小野寺 明美	本吉
3	菅原 友子	本吉
4	菅原 典子	本吉
5	畠山 栄子	本吉
6	遠藤 順子	本吉
7	佐藤 晴子	本吉
8	三浦 末子	本吉



## 保護者交流会(本吉絆つながり隊と唐桑地区手をつなぐ育成会)

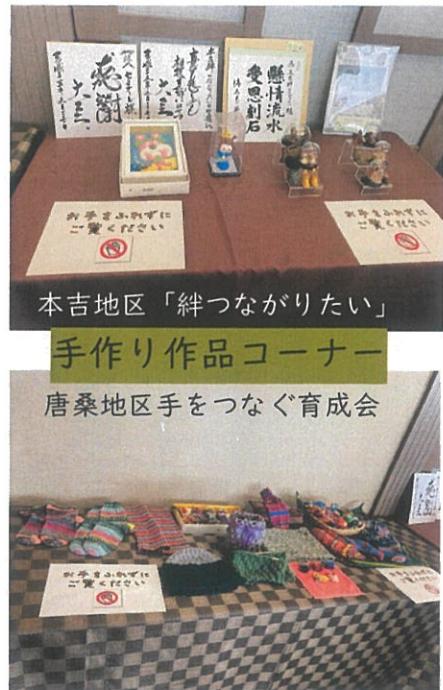
@はまなす海洋館 令和3年3月22日



はまなす海洋館の見晴らしの良い部屋でお店スタッフの方の協力もありコロナ対策万全で実施出来ました。



宮城県育成会事務局の遠藤紅子さん今回の交流会の調整をしてくださいました。



本吉地区「絆つながりたい」  
手作り作品コーナー

唐桑地区手をつなぐ育成会



プロジェクターで写真を見ながらお互いの活動紹介をしました！お互いに震災後いろんな人の関りで新しい活動が生まれてきましたことがわかりました。絆を大事に活動している思いが伝わります。



食事の後、お互いの活動について質問を受け付けました。活動の運営などについて意見が出ましたが、個人個人の将来について感じている不安や悩みも皆で共有することができました。後見のこと、障がい者福祉の制度のことなど共有することでいろんな気づきと安心感、また地区によって状況が違うことなど学ぶことができました。このような機会を頂いたことに感謝し、これをきっかけに引き続き繋がっていきたいです。